

題目：各種抗菌薬の血液・髄液由来黄色ブドウ球菌に対する感受性動向調査

1. 対象：

2007年4月～7月および2012年4月～7月の2期間に近畿県内の16施設において血液および髄液より分離された黄色ブドウ球菌

2. 研究機関名：

大阪大学医学部附属病院，近畿大学医学部附属病院，関西医科大学附属病院，大阪警察病院，住友病院，大手前病院，兵庫医科大学医学部附属病院，兵庫県立西宮病院，宝塚市民病院，神戸大学医学部附属病院，京都大学医学部附属病院，京都第二赤十字病院，天理よろづ相談所病院，滋賀県立成人病センター，社会保険滋賀病院，大津赤十字病院

3. 菌株収集期間：

第1期：2007年4月1日～7月31日，第2期：2012年4月1日～7月31日

4. 目的：

バンコマイシン低感受性株の出現頻度ならびに各種抗菌薬の感受性率の変化を調査する。

5. 方法：

①バンコマイシン低感受性株検出培地 (Satola WS, et al. J Clin Microbiol 2011 49:177-183) を用い、各期におけるバンコマイシン低感受性株の出現頻度を検討する

②米国臨床検査標準化委員会の薬剤感受性標準法に従い、バンコマイシン、アルベカシン、テイコプラニン、リネゾリド、ダプトマイシン、チゲサイクリンの感受性を測定する。

6. 意義：

①バンコマイシン低感受性株の出現頻度および2期間の変化が明らかとなります。

②各種抗菌薬の感受性率および2期間の変化が明らかとなります。

7. 個人情報の扱い：

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけて匿名化を行います。

8. 問い合わせ先：

大阪大学医学部附属病院・臨床検査部 (TEL:06-6879-6680)

9. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：

上記問合せ先にお電話にて連絡ください。参加を拒否される方のデータはすべて削除いたします。